

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2023年 12 月 15 日

事業所名: ゆずの森

サービス種類: (放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	一日の利用人数に合わせたスペースの確保をしています。学習や療育等の内容でスペースを分けて活動しています。	はい…92% どちらともいえない…8%	今後も学習、活動に適した環境を確保し安全に過ごせるようにしていきます。
	2 職員の適切な配置	配置上、必要とされる人数の配置をしています。	はい…83% わからない…16%	今後も引き続き必要な人員配置をしていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	安全に移動できるよう声掛け見守りを行っています。一日の流れ等はホワイトボード、絵や文字のカードを活用し視覚的にわかりやすい情報提供を行っています。	はい…100%	今後も安全面には十分な配慮をし、視覚を意識したわかりやすい情報で伝えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	利用児童の帰宅後は日々、清掃・消毒を行っています。室内は常時サーキュレーターを稼働し、こまめな換気をすると共に過ごしやすい室温を保てるようにしています。	はい…83% どちらともいえない…8% わからない…8%	引き続きこまめな換気・清掃・消毒を行います。室温は過ごしやすいよう調整していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の業務口頭にも細かな事を記入しスタッフ全員で確認し情報共有をしています。毎日出勤していないスタッフや休みの翌日にはミーティング等の時間を設け可能な限り情報共有を行っています。		今後も個々の課題の確認や問題点の改善等を振り返り、スタッフ間で情報共有をしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は実施していません。		今後、必要であれば検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オフラインでの研修や関係機関から研修のお知らせ等、可能な限り積極的に研修に参加しています。研修後は、ミーティングを行いスタッフ間で情報共有し支援に繋げています。		今後も積極的に研修に参加し、支援の質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画を作成する前に日々の記録等を参考にしながら評価をし、評価をもとに面談を行っています。面談後、支援計画案を作成しスタッフ会議を行ったうえで個別支援計画を作成しています。	はい…83% どちらともいえない…8% わからない…8%	今後も個別支援計画を作成する際は、日々の記録や様子、また家族からの意見を汲み取りながら状態の把握をして個別支援計画を作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの課題に応じ、個別支援・集団支援を組み合わせる支援計画の作成を行っています。		今後も、個々の課題に応じた個別支援・集団支援を組み合わせ個別支援計画の作成を行います。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画には、目標・課題・支援内容等を記載しています。保護者に同意をもらう際は、細かな所まで口頭での説明を行っています。	はい…92% どちらともいえない…8%	今後も、目標・課題・支援内容等は家族、本人のニーズにを汲み取りながらわかりやすく記載し、説明させていただきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	スタッフ全体で個別支援計画を把握し、個々に合った支援を行っています。また、スタッフ全体で共通した支援ができるよう努めています。	はい…92% どちらともいえない…8%	今後も、スタッフ全体で情報共有し、支援計画をもとに共通した支援ができるよう努めます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	年間で季節や行事に応じたプログラムを検討し、それをもとにスタッフ全体でプログラムの内容が固定化しないよう話し合いをしています。また、個々に合ったプログラムの内容を検討し活動しています。		今後も、スタッフで意見を出し合いプログラムの内容が固定化せず、利用者が様々な活動に意欲的に参加できるようにしていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は個別、集団を中心とした支援プログラムを提供し、土曜日や長期休みはクッキングや公園、外出等、普段できない内容を提供し療育支援ができるようにしています。		今後も、土曜日や長期休みは普段できないプログラムを取り入れ充実した療育支援の提供を行っていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動やプログラムはスタッフ全体で様々な内容の立案、検討し実施しています。また、個々の特性に応じた課題や活動内容が出来るよう工夫しています。	はい…83% わからない…17%	今後も、プログラムや活動内容が固定化しないようスタッフ全体で意見を出し合い、様々な活動プログラムを検討していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前にはスタッフ間で一日の流れを確認し連絡事項、注意事項等の確認をしています。また役割分担についても確認し全体で把握できるよう努めています。		今後も引き続き確認を行っていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	スタッフ間で一日の支援内容を振り返り、気になった事等、情報共有し必要事項は都度、業務日誌に記入しスタッフ全員がいつでも確認できるようにしています。		今後も引き続き情報共有ができるようにしていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日誌を活用し細かな記録を行い、スタッフ間で一日の振り返りをし、支援内容の検証や改善をつと行っています。		今後も引き続き業務日誌を活用し、支援の検証・改善を行っていきます。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一回または必要な時に、モニタリング、保護者面談、スタッフ会議を行い、それをもとに支援計画の見直しを行っています。		今後も、半年に一回または必要な時に支援計画の評価をし見直しを行っていきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談員さんから担当者会議の会議の依頼があった時は児発管が参加し、必要であれば指導員も参加しています。会議の内容は必ず書面に残しスタッフ間で共有し保管しています。		引き続き継続していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在に至るまで、医療的ケア・重度心身障害のある利用者はいません。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在に至るまで、医療的ケア・重度心身障害のある利用者はいません。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	担当者会議には必ず参加し、他事業所との連携を図り情報共有を行っています。また、学校に迎えに行った時は、可能な限り先生と情報共有をさせてもらっています。		今後も、必要な限り他事業所や学校等と情報共有を行っていきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在に至るまで学校を卒業した利用者はいません。		今後、利用者が学校を卒業し福祉サービス等を利用する時は、相談員を通して必要な情報共有をしていきたいと思います。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	可能な限り外部研修に参加しています。		今後も、積極的に研修に参加させてもらい、スタッフの質の向上に努めるとともに、専門機関との連携をとっていきます。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	外部の児童館や児童クラブとの交流は行っていません。	はい…42% どちらともいえない…8% いいえ…8% わからない…42%	今後、交流の依頼があれば検討していきたいと思っています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	避難訓練時、氷丘公民館を活用させて頂いています。また、地域の営農組合さんに協力頂き野菜等の収穫体験をさせてもらっています。		今後も地域住民の方のご理解ご協力を得られるよう努力していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、保護者に分かりやすく説明をさせてもらっています。質問等があった時は、都度分かりやすく伝えています。	はい…92% どちらともいえない…8%	今後も、ご理解頂けるよう、分かりやすく丁寧に説明させていただきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者には個別支援計画をもとに分かりやすく説明させてもらっています。	はい…92% どちらともいえない…8%	今後も、ご理解頂けるよう、分かりやすく丁寧に説明させていただきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	面談時や送迎時、または保護者から電話やメールで相談があった時は、一緒に考えたり助言を行っています。	はい…67% どちらともいえない…8% いいえ…8% わからない…16%	今後も、保護者から相談があった時は、可能な限り一緒に考えたり助言を行っていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	自宅送迎時には口頭でその日の様子を伝えたり、連絡帳にその日の様子を分かりやすく記載し、保護者と共通理解ができるようにしています。	はい…100%	今後も、保護者と共通理解ができるよう、利用者の様子をしっかりと伝えていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった時は、一緒に考え、助言や提案を行っています。	はい…100%	今後も、相談があった時は助言、提案をしていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会、保護者会等の活動は行っていません。	はい…17% いいえ…47% わからない…47%	今後、必要であれば検討します。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時、管理者より契約書をもとに苦情窓口の説明を行っています。苦情や意見があった時は都度、迅速に対応させてもらっています。	はい…83% どちらともいえない…8% わからない…8%	今後も、苦情や意見があった時は、迅速かつ丁寧に対応させていただきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々に合わせた意思疎通ができるよう対応しています。保護者には送迎時または連絡帳を通して情報共有を行い、必要であれば電話で情報を伝える事もあります。	はい…100%	今後も引き続き継続していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	一年に数回お便りを作成し必要な情報や事業所での活動の様子をお知らせしています。また、必要な情報は都度、お便りを作成し配布しています。	はい…83% どちらともいえない…8% わからない…8%	今後も分かりやすい内容で、お便りや会報誌等を作成し発信していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報記載されている書類等は施錠できる場所に保管し外部の目に触れる事のないようにしています。また不要になった書類はシュレッダーにかけ処分しています。	はい…92% わからない…8%	今後も個人情報の取り扱いには十分な対応を行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは事業所内に設置しています。マニュアルの説明は契約時に行っています。	はい…100%	今後も契約時、契約書をもとにマニュアルを説明し保護者への周知徹底を行っていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	二カ月に一回の頻度で避難訓練、その他の訓練を行っています。避難時は氷丘公民館の一部を借りています。また、防災センターに見学に行き、避難訓練、その他の訓練を体験させてもらっています。	はい…92% どちらともいえない…8%	利用予定表に避難訓練、その他の訓練日を記載しています。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	日々の振り返りのなかで、スタッフの支援時の対応について確認を行っています。また、虐待防止委員会を設置し委員会の開催をしたり、事業所内外の研修にも積極的に参加しています。		今後も、スタッフ間での連携を図り虐待防止に努めるとともに、研修には積極的に参加しスタッフ全体で周知徹底を行っていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ず身体拘束が必要な場合にはスタッフ間で検討を行ったうえで状況把握をし、保護者には十分な説明をさせていただきます。また、その場合は、個別支援計画に記載し保護者との共通理解をさせていただきます。		やむを得ず身体拘束が必要な場合は、保護者に十分な説明を行い了解のもと適切な対応をしていきます。また、個別支援計画に記載し必ず保護者の了承を得ます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時アレルギーの有無を確認し、アレルギーのある利用者についてはフェイスシートに細かく記入して頂きスタッフ全員が周知しています。おやつやクッキングの際は細心の注意を払い適切に対応しています。		今後も引き続き継続していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	小さな気付きでもスタッフ間で報告・検討を行いヒヤリハットを記入し全体で確認しています。長期休み終了後、スタッフ会議を行いヒヤリハットの報告をし報告をし大きな事故に繋がらないよう対策を検討しています。		今後も引き続き継続していきます。